

北誠スーパーウッドテクノ工法



会社の看板等は自社作製です。



「北誠SWT工法」

新工法の開発は(株)北誠商事が万能ブロック(特許申請中)(国際特許公開中)を開発したことから始まり、このブロックを建築壁材として利用できないか考えました。建築の構造材として利用するには、建築基準法と言う厚い壁があり今までは木造建築において新工法は有りません。今までは日本建築(在来工法)・欧米の2X4工法・カナダのログハウス・おもにこの3種類で、他には詳細部をアレンジして認定を取得していると言ったところです。今回認定を頂くには、大学の研究室において試験等を繰り返し、木造において従来の建築構造を遥かに超える工法であると証明され、認定を得る事が出来ました。



メルパルクNAGANO

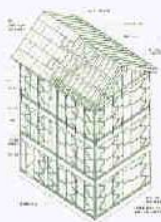


構造体が再利用できる！

いま住宅を建てようと思う時、建築費の他に現在の建物に掛かる解体費が馬鹿になりません。そんな思いを子孫に与えないために、北誠SWT工法は有効です。この工法はブロック状のパネルを重ね合わせ、壁を構成して行く方式です。ですから解体の時も取り外して行く、取り外したパネルは再利用でき、まるで違う建物を作れます。これがこのパネルの最大の利点です。

固定資産税が一生涯の間に大きく違う

木造建築は償却期限が22年です。鉄骨・鉄筋コンクリート造は47年間でほとんど下がりません。この差額がどれだけ大きいかわかっているのと知らないのでは、一生涯の間では大きく違います。参考 47年間に3000万の評価であれば約1000万円余計に支払わなければいけません。



HOKUSEI